

【9/12赤いか速報】ソデイカ漁期前試験操業の結果等

令和5年9月12日（火）に鳥取県漁協賀露支所の富士丸、第五正洋丸に御協力いただき、赤いかの試験操業を行いました。結果は2.5時間で1尾（外套長31.7cm、重量1.2kg）でした（他にばらしが1尾）。

試験操業は、東経134°09'のライン（水深140～220m）で行いました。赤いかは、水深220m付近の水深帯で漁獲されており、**沖側での操業をお勧めします**。なお、灘側（水深140～180m）では、2本の餌木をフグにかみ切られました。

●海況と漁況予測●

8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深の海水温と赤いか漁獲量との相関関係から赤いかの漁況の予測を行っています。8月24日時点で同調査点の水温は17.84℃と平年並の水温となっており、予想される漁獲量は66トンと近年では比較的高い水準が見込まれます。

しかし、水産試験場による8月下旬の海洋観測の結果によると、対馬暖流の主流は朝鮮半島東岸を流れており、分流も隠岐諸島の北西で北に向かう流れが卓越しており、鳥取県沿岸にソデイカの供給が期待できない状況です。

【その他のソデイカ情報】

兵庫県但馬水産技術センターHP「漁況情報：沿岸いか釣り漁場探索調査の結果」より、以下の情報が公開されています。フグによる漁具被害があります。

※沿岸いか釣り釣獲試験（小型が主体です）

9月2日：釣獲尾数9尾（外套長17-42cm、水深130-357m）

9月3日：釣獲尾数26尾（外套長30-45cm、水深136-230m）

9月9日：釣獲尾数1尾（外套長35cm、水深140-198m）

9月10日：釣獲尾数2尾（外套長39-40cm、水深134-173m）